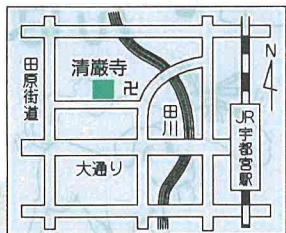


ふれあい 広場



この銅鐘は、江戸時代の中ごろに造られたものです。当時は多くの鐘が造られた時期で、宇都宮には優秀な鋳物師がいました。銘文には、江戸時代の初期に造った鐘が火災で壊れ、寛延四年（一七五一年）に造り直したと書かれていますので、この鐘は二代目です。テレビや新聞で一般の人でも除夜の鐘が突けるお寺として紹介されてから、たくさんの方が訪れるようになりました。そこで訪れた人全員が鐘を突けるようにしています。



大通り5丁目 樋口美穂子さん

清巖寺の銅鐘

昭和63年3月22日、市指定文化財

文化財ウォッチング